

薬剤耐性菌（MRSA）など2種で死亡は年間8千人 死亡者の約6%強となっている

黄色ブドウ球菌（MRSA）とフルオロキノロン耐性菌が原因で死亡した人の数は2017年で8100人と、市日翁社に占める割合は6.4%となっている。

荒っぽい概略計算（不正確）では、アメリカの人口は3.3億人、ヨーロッパに人口は7.3億人であるから、抗生物質耐性菌での死亡者数の割合は、アメリカでは日本の1.6倍程度、ヨーロッパでは約3分の2程度となる。アメリカにおいては抗生物質が過剰使用され、強力な耐性菌を作り出している可能性がある。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA、Wikipedia）

抗生物質メチシリンに対する薬剤耐性を獲得した黄色ブドウ球菌の意味であるが、実際は多くの抗生物質に耐性を示す多剤耐性菌である。

フルオロキノロン

（ニューキノロン、Wikipedia）

合成抗菌薬の系列の一つである。DNA ジャイレースを阻害することにより、殺菌的に作用する薬剤である。



日本経済新聞(夕刊) 2019.12.5

# 薬剤耐性菌で8000人死亡

## 17年推計初の全国調査 MRSAなど2種

抗生物質(抗菌薬)の効かない「薬剤耐性菌」によって2017年に国内で8千人以上が死したとの推計を、国立国際医療研究センター病院(東葛)などの研究チームが5日まとめた。耐性菌の死者数を全国規模で調べた調査は初めて、代表的な2種の耐性菌を調査した。

耐性菌は抗菌薬を止しく使っても発生するが、使い過ぎによって生まれやすくなり、拡大が加速される。近年、耐性菌による死者の世界的増加が指摘されていた。日本でも深刻な影響を及ぼしていることが明らかになり、抗がん剤の適正使用など、対策が求められる。

▽薬剤耐性菌 遺伝子ある。人や動物への不適切な抗生物質使用で発生し、殺菌作用が弱くなる。耐性を獲得した細菌は、殺菌作用が効かない多剤耐性菌も報告されている。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)や、フルオロキノロン耐性菌(FLUQ)などがある。

▽耐性大腸菌 薬剤耐性対策に詳しい三橋広孝・愛知医大教授(感染症)は「MRSAの死者数が減っていないが、免疫が落ちた人や高齢者が感染すると、重症化して死に至るリスクが高まる。米国では年間3万3千人以上、欧州は1万3千人が死している」と指摘する。

一方、フルオロキノロン耐性大腸菌の死者数はリファレンスセンターの増加している。他の菌の感染も合わせては死者数の増加は目撃されていないが、新薬の開発の遅延は、耐性菌の全や、医師が抗がん剤の使用を控えた」とし、「激論して、必要に応じて、対策を講じる必要がある」としている。

▽薬剤耐性菌 遺伝子ある。人や動物への不適切な抗生物質使用で発生し、殺菌作用が弱くなる。耐性を獲得した細菌は、殺菌作用が効かない多剤耐性菌も報告されている。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)や、フルオロキノロン耐性菌(FLUQ)などがある。

▽耐性大腸菌 薬剤耐性対策に詳しい三橋広孝・愛知医大教授(感染症)は「MRSAの死者数が減っていないが、免疫が落ちた人や高齢者が感染すると、重症化して死に至るリスクが高まる。米国では年間3万3千人以上、欧州は1万3千人が死している」と指摘する。

一方、フルオロキノロン耐性大腸菌の死者数はリファレンスセンターの増加している。他の菌の感染も合わせては死者数の増加は目撃されていないが、新薬の開発の遅延は、耐性菌の全や、医師が抗がん剤の使用を控えた」とし、「激論して、必要に応じて、対策を講じる必要がある」としている。